

# 大豊工業レポート

Taiho Kogyo Report

# 2021

2020年4月～2021年3月の取り組み報告



 **大豊工業株式会社**

# 社 是

私たちは時流に先んじ、合理主義に基づき  
優れた製品をもって顧客の信頼に応える

## — 信頼の大豊 —

### Taiho Means Reliability

With this as our motto.

We at Taiho Group respond to the trust that our customers have lodged in us, by supplying quality products in anticipation of future needs and based on rational solutions.

創業以来、自動車の「摩擦・摩耗」をテーマに、その基礎研究から応用にいたる幅広い技術を蓄積し、「トライボロジー（摩擦工学）のスペシャリスト」として、発展してきました。モノづくりにこだわり、「創意と工夫」「絶えざる改善」「チームワーク」を柱として、魅力ある製品をご提供し、お客様の信頼にお応えします。

#### 会社概要 (2021年3月31日現在)

商号 大豊工業株式会社  
本社 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65  
創業 1944年12月  
資本金 67億1千2百万円  
従業員数 連結：4,389名 単独：2,017名

#### 生産拠点

本社工場 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65  
細谷工場 愛知県豊田市細谷町2-47  
篠原工場 愛知県豊田市篠原町敷田37-1  
九州工場 鹿児島県出水市緑町50-19  
幸海工場 愛知県豊田市幸海町市田上切2-1  
岐阜工場 岐阜県可児郡御嵩町御嵩2188-6

#### 主な施設、営業所

本社 / 営業部 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65  
技術開発センター 愛知県豊田市細谷町2-47  
東京営業所 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル8F  
大阪営業所 大阪府大阪市淀川区宮原4-3-12 新大阪明幸ビル5F

#### 大株主(上位5名)

トヨタ自動車株式会社	33.37%
株式会社豊田自動織機	4.92%
日本発条株式会社	4.63%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4.06%
豊田通商株式会社	3.69%

#### 国内子会社

大豊精機株式会社  
日本ガスケット株式会社  
株式会社ティーイーティー  
株式会社タイホウライフサービス

#### 主な海外子会社

タイホウコーポレーションオブアメリカ  
タイホウヌサンタラ株式会社  
タイホウコーポレーションオブヨーロッパ有限公司  
韓国大豊株式会社  
大豊工業(煙台)有限公司  
タイホウコーポレーションオブタイランド  
常州工業軸瓦材料有限公司





# 大豊工業レポート 2021

目次

社是・目次 ..... 1

TOP MESSAGE ..... 3

---

特集 1  
VISION2025  
～実現に向けた取り組み～ ..... 7

特集 2  
大豊工業のサステナビリティ ..... 9

---

コーポレートガバナンス ..... 11

コンプライアンス/リスクマネジメント ..... 12

お客様とともに ..... 13

取引先とともに ..... 14

従業員とともに ..... 15

社会・地域とともに ..... 18

株主・投資家とともに ..... 19

地球環境のために ..... 20

事業概要 ..... 25

財務データ ..... 26

## 報告適用範囲と期間

「大豊工業レポート」は、ESGに対する当社の考え方と2020年度の取り組みについて報告しています。また、対象組織を大豊工業株式会社および連結子会社とし、掲載する情報は2020年4月から2021年3月（一部に2021年4月以降も含まれます）としています。

## ■ 報告サイクルについて

「大豊工業レポート」は年次報告として毎年発行しています。なお、前回は2020年11月に発行しています。

## ■ 参照ガイドライン

・GRI サステナビリティ レポートニング ガイドライン

## ■ お問い合わせ先

大豊工業株式会社 総務人事部 広報・社会貢献室  
電話番号 0565-28-2800 FAX番号 0565-28-2030

## ■ 免責事項

本報告書には将来見通しについての方策や計画が記載されています。これらは2021年5月時点での当社の予測に基づく内容であり、天災、経済動向、法規制動向、業界動向などのリスクや不確実性を含んでいます。そのため、計画などについては実績と異なる可能性があります。

## ■ 公表媒体

本報告書は、当社ウェブサイト上でのWEB版と冊子配付により公表しています。







不確実な時代の中で  
守り **深化** と攻め **探索** の両立  
そして人財力で  
信頼され続ける企業を目指します

代表取締役社長

**杉原 功一**

## 2020年度の総括

2020年度は、当社にとって「VISION2020～地球環境とお客様へ貢献～」の総仕上げにあたる年で、中国におけるビジネス基盤の強化や電動化製品の拡充などによりVISION2020の完遂を目指していました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う消費活動の停滞や自動車の需要減により、上半期は大幅な業績悪化を余儀なくされました。この逆境を体質強化のための好機と捉え、ロスを極力抑える一方で固定費削減を中心とする「緊急収益対策」の策定・実行に取り組みました。下半期は、いち早くコロナが沈静化した中国をはじめ自動車市場が回復して、売上が前年度を上回る水準となり、先の緊急収益対策活動も功を奏して、売上高929億円、営業利益については事前公表した修正値7億円を確保することができました。特に第4四半期に限って言えば、厳しい事業環境下でも、営業利益率が6%を上回る水準に達しました。こうした成果を2021年度にもつなげていきたいと考えています。

## 「VISION2025」～「守り」と「攻め」で既存製品拡大と新領域へチャレンジ

「VISION2020」に続く新たな経営の羅針盤としてスタートしたのが「VISION2025」です。「地球とミライの社会に貢献」というスローガンのもと、新中期経営方針では「変わろう大豊未来のために～信頼され続ける企業として～」としました。

活動の中心となるのが「守り」**深化**と「攻め」**探索**の両立です。ここでいう**深化**とは、既存商品の競争力を高めシェアの拡大を目指す取り組みであり、**探索**とは新領域、新商品の開発にチャレンジして事業を拡大することを意味します。**深化**と**探索**、加えてそれら

を支える基盤である人財力の強化に取り組み、2025年に向けて持続的な成長を図っていきます。その実現に向けて先の6月に組織・人事改訂を行いました。

### 特集①VISION2025 ～実現に向けた取り組み～

#### (1) マネジメント体制の改訂

「取締役＝経営（意思決定・監督）」、「執行役員＝業務執行」との役割を一層明確化し、従来の取締役8名を5名体制として意思決定のさらなるスピードアップを図る。

迅速な意思決定と機動的な業務執行の体制の実効性を高めるとともに、経営の透明性を図る。

#### (2) 組織・人事改訂

- ① **深化** 製品設計力の強化・競争力の向上
- ② **深化** 中国事業体制の強化
- ③ **深化** ダイカスト事業本部の設立
- ④ **探索** 大豊グループとしての新製品領域の開発力強化





中期経営方針 2021-2023年度

# 変わろう大豊 未来のために ～信頼され続ける企業として～

- 「既存技術の深化」と「新たな価値の探索」によりお客様の期待を超える
- たくましい人財とグループの力で強靱な経営基盤を確立する

TAIHO

## 新中期経営計画(2021～2023年度) 強靱な経営基盤の確立へ

VISION2025の実現に向け、「変わろう大豊未来のために ～信頼され続ける企業として～」というスローガンとともに、当初3カ年の活動について具体化したのが、新中期経営計画(2021～2023年度)です。

「信頼の大豊」という社是を掲げているように、当社は「信頼」というものを最も重要な拠り所としてきました。自動車業界が大変革期にある中、お客様や社会から寄せていただいていた「信頼」を今後も守り続けたい。そのためにも今こそ我々は変わらなくてはならない。そんな思いを表現したスローガンです。

新中期経営計画では、重要方針の一つとして「たくましい人財とグループの力で強靱な経営基盤を確立する」を掲げています。当社は、2016年から「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」を推進するなど、人財力の向上に注力してきました。

現場を支える人財を計画的に育成する仕組みとして「スキルアップ制度」の策定・導入を進めてきました。こうした枠組みを通じて、専門技能を確実に次世代に伝承する人財を養成しながら、モノづくりのノウハウの組織への定着・浸透を図っています。

客観的な視点を持って自分たちの改善活動をさらに

向上させるべく、QCサークル活動の活性化も進めました。なんと、全国的にも激戦区といわれる東海支部のチャンピオン大会に当社のQCサークルが初出場を果たすだけでなく、金賞を受賞することができました。このような対外試合にも力を入れたりすることで、「改善の質自体が高まってきた」と手応えを得ています。道具の置き場所や置き方を工夫して、ミスやムダの発生を抑制する。もちろんそうした活動も大切ですが、近年では、「自工程の作業方法をこのように変更すれば、次工程のバリ取りが不要にできるのではないかなど、前後の工程を含め全体を見通せる改善にレベルを上げています。

今までよりも目線を上げ、自分たちの作っている製品やその製造方法について本質的な理解が進むと、各個人の問題解決力が高まります。自分だけでは気づかなくても、皆のレベルが上がることで「互いに教え、教えられる風土」が醸成され、問題の発見や解決が自ずと促進されます。

また理解のレベルが上がり広範囲におよぶと、担当以外の工程もこなせるようになり、いわゆる多能工化が進みます。生産工程や生産計画を立てる際の柔軟性も高まり、競争力のある現場へと成長できます。まだまだ





道半ばではありますが、そのような好循環が生まれつつあります。

こうした点は職種や部門が違って通底するものです。今後、事務部門などでもそうした取り組みを広げ、オール大豊での成長を目指します。

## カーボンニュートラルとサステナビリティ

CASE(コネクテッド、自動化、カーシェアリング、電動化)やMaaS(包括的移動サービス)など、自動車業界を取り巻く環境は激変の最中にあります。中でも持続可能性や気候変動抑制の面から大きな社会課題になっているのがカーボンニュートラル(以下、CN)であり、BEV(バッテリーEV)や水素を活用したシステムなど、次世代の自動車の在り方について模索が続いています。

自動車分野で水素という燃料電池が想起されますが、国内外の自動車メーカーでは水素を動力源とするエンジンの研究も行われてきました。これが開発されれば走行時の温室効果ガスはほとんど排出されません。先日トヨタ自動車の豊田章男社長が、自らレースの場で水素エンジンを搭載した車を走らせていましたが、CNの解決策は一つではありません。長年にわたり内燃機関とともに勝負してきた当社としても、とても勇気づけられました。

CNについては、当社のような部品メーカーとしては、主に生産プロセスにおける課題と捉えています。たとえばBEV向けの製品開発や供給を手がけた場合、その生産をはじめとした各プロセスにおいて環境負荷を低減できたかが重要になるということです。近年の社会およびお客様からのCNに関する要求水準の高まりを受け、計画を前倒しすべく見直しています。

温室効果ガス排出削減に向けたロードマップは国の発展段階によって異なり、日本は、既にかかなりの省エネを実現しながら、さらなる大幅なCO<sub>2</sub>削減を国際的に公約しています。



新型「MIRAI」に採用



プレッシャープレート

エンドプレート

従前から、当社は環境保全組織のマネジメントのもと、生産面でのCO<sub>2</sub>削減や、環境に配慮した製品開発に取り組んできました。これまでの蓄積の中で、こういう設備を導入すれば良い、こういう仕組みで成型すれば効率化できるという方法論はかなり整理し、部分的に実践しています。これを推進すれば、原単位の大幅な削減につながるようなイノベーションも不可能ではないと考えています。

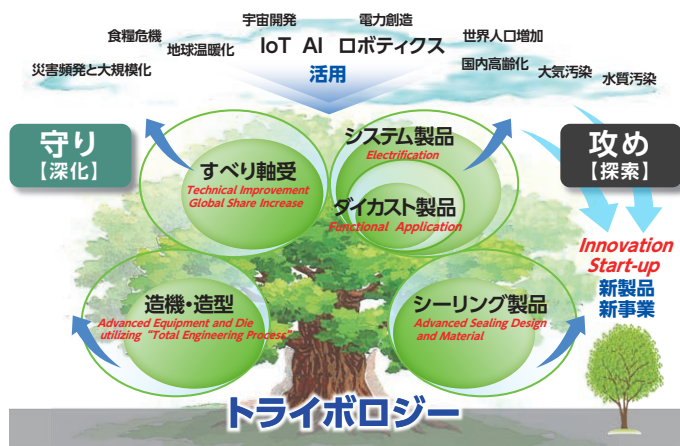
こうして地球環境の課題に本業で貢献していくことが、大豊グループのサステナビリティを高めることにつながると思います。さらには当社を取り巻く経営環境変化に対応していきます。

未だに新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況ですが、当社の技術力、提案力、グローバルな供給体制で、世の中から必要とされる「信頼の大豊」を実現してまいります。

# 1 VISION2025 ~実現に向けた取り組み~

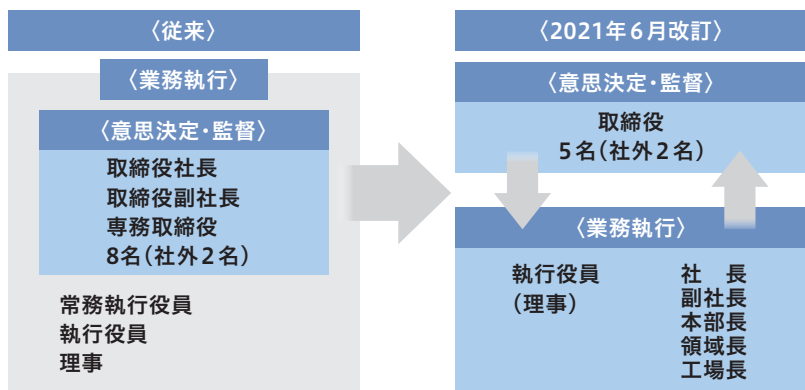


2011年度から大豊グループのミッションを定めた「VISION2015」をスタートさせ、地球環境と持続的成長を図ってきました。激動する時代の変化の中、2021年度では「VISION2025」のもとで既存事業の『守り(深化)』と新事業の『攻め(探索)』を強力に推進し、大豊グループの未来を拓いていきます。その実現に向けてマネジメント体制および組織・人事の改訂を行いました。



## マネジメント体制の改訂

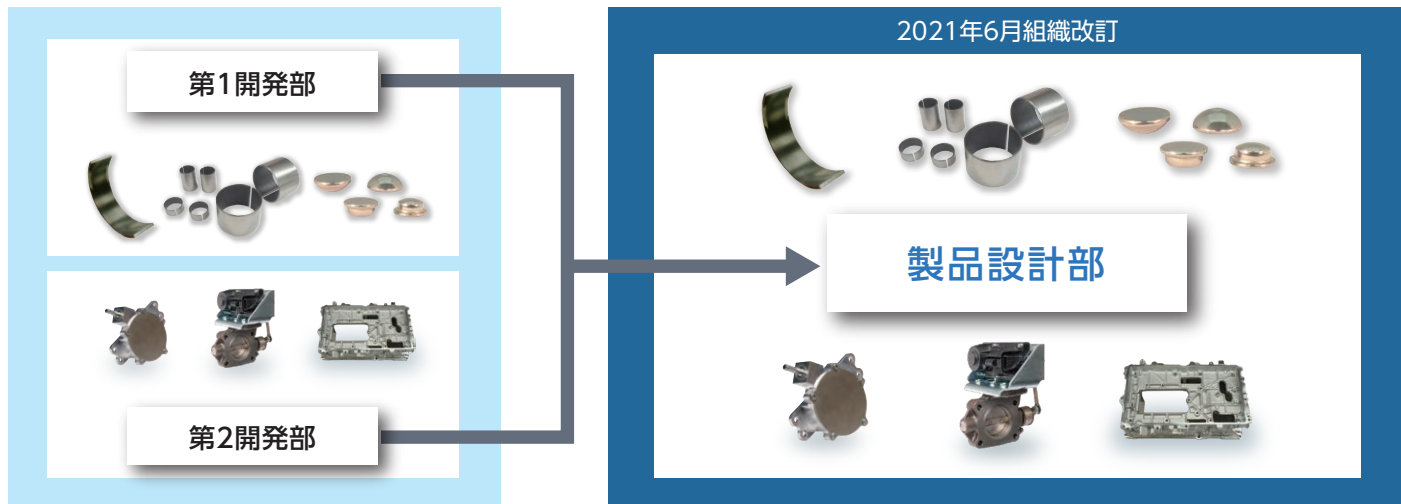
「取締役=経営(意思決定・監督)」、「執行役員=業務執行」との役割を一層明確化し、取締役8名を5名体制として迅速な意思決定と機動的な業務執行の体制の実効性を高めるとともに、経営の透明性を図ります。



## 組織・人事改訂

### 深化 製品設計力の強化、競争力の向上

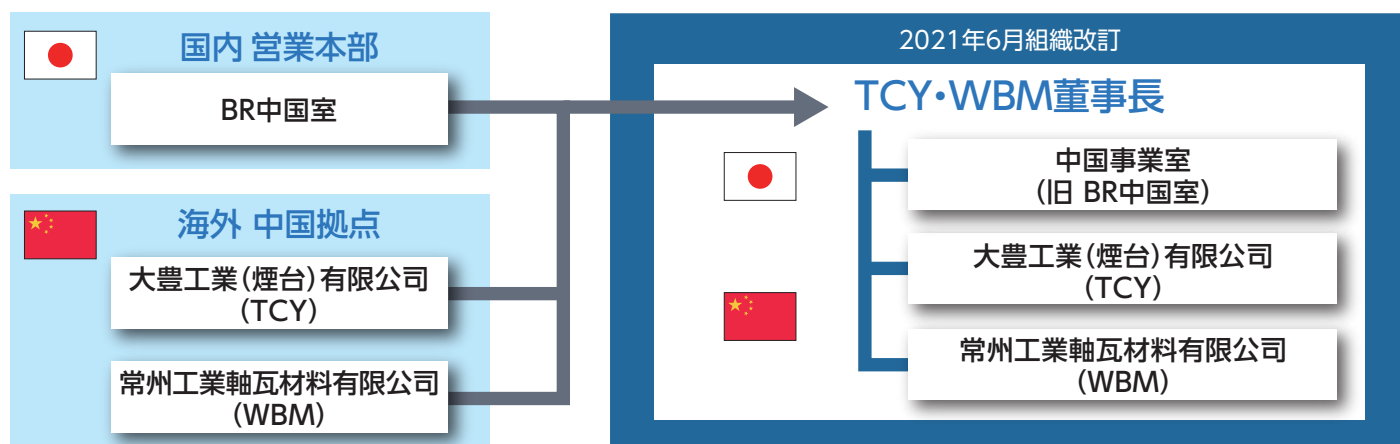
既存製品の開発部隊を統合し、商品力を磨く力(深化)を強化してシェアアップを図ります。





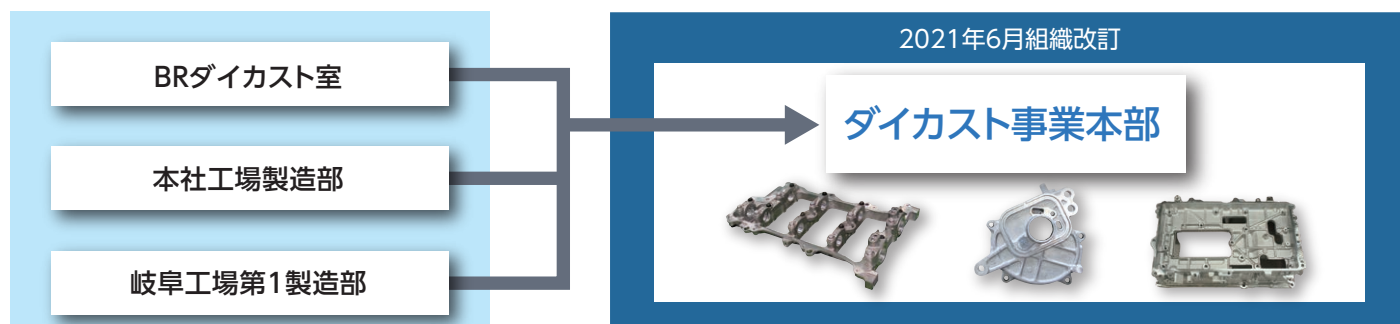
## 深化 中国事業体制の強化

日本の中国事業室および現地拠点を中国駐在の董事長が統括する体制を構築しました。迅速な意思決定で中国ビジネスの拡大を図ります。



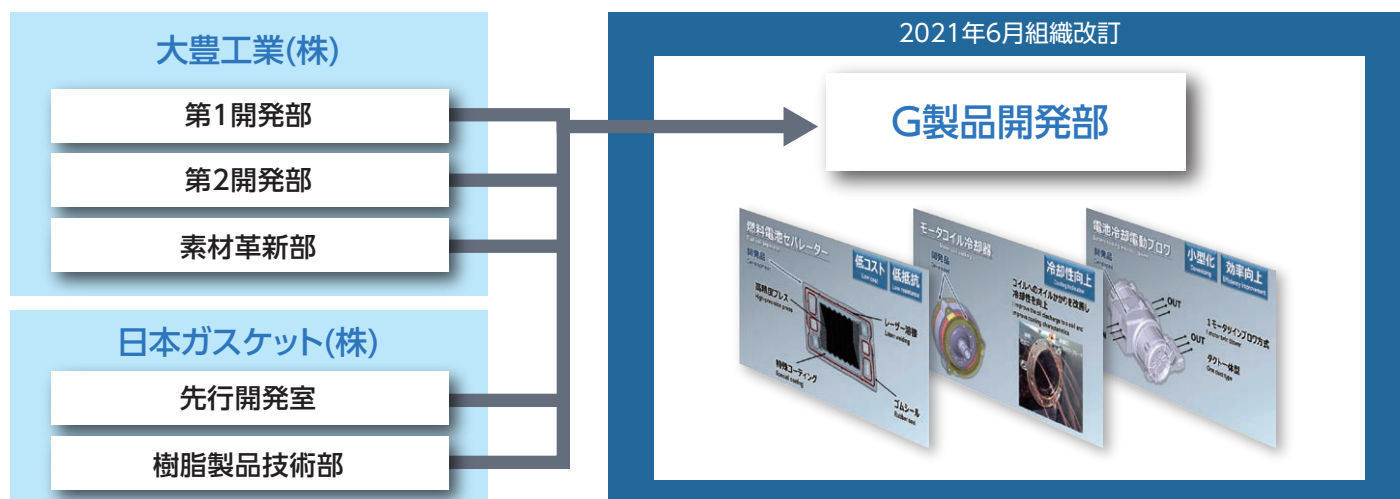
## 深化 ダイカスト事業本部の設立

モビリティの電動化が進むとともにアルミダイカスト製品の需要拡大が見込まれます。ダイカスト事業を軸受事業に続く『真の第2の柱』と位置づけ、営業から製造まで一気通貫してリソースの効率向上を図ります。



## 探索 大豊グループとしての新製品領域の開発力強化

大豊工業と日本ガスケットの技術探索機能をG製品開発部に集約し、新製品の自主開発体制とグループ連携強化を図ります。

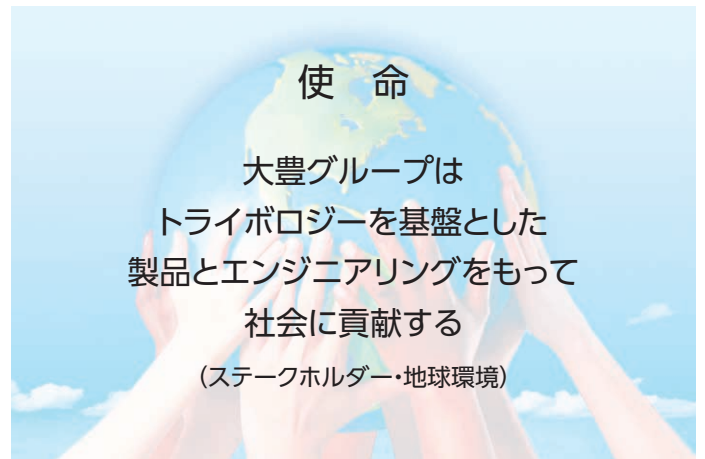


# 特集 2 大豊工業のサステナビリティ

## サステナビリティの考え方

当社におけるサステナビリティの基本的な考えは、「トライボロジーを基盤とした製品とエンジニアリングをもって社会に貢献する」ことです。

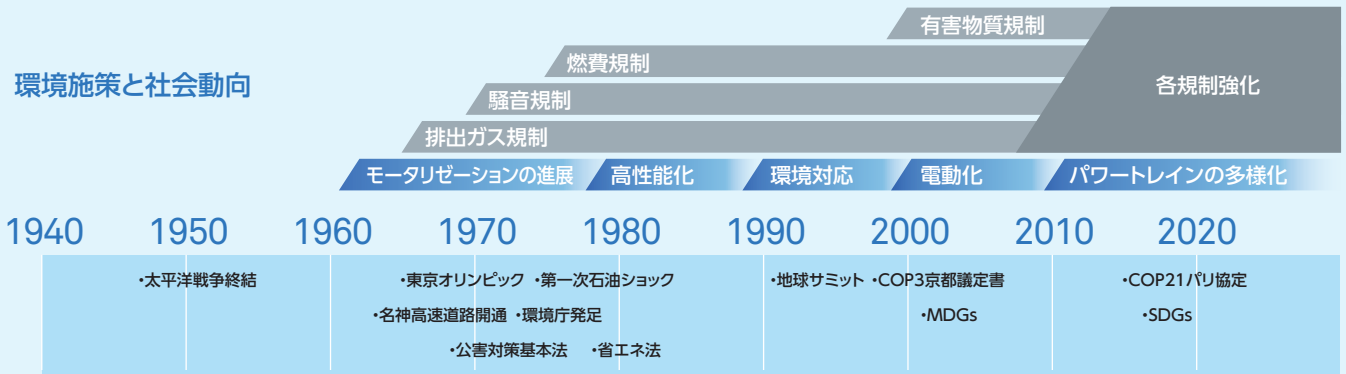
これは、従来から定めていた「使命」そのものです。社会動向の変化に応じて経営戦略は時代とともに変化していきますが、企業としての成長や存続そのものが社会に貢献してきた事を今後も続けていくことがサステナビリティであると考えています。



## 創業以来の大豊工業のあゆみ

当社は、自動車部品メーカーとして1944年に豊田市(現本社所在地)にて操業を開始しました。創業以来、「摩擦・摩耗」に関わる幅広い技術を蓄積し、「トライボロジー(摩擦工学)」の専門メーカーとして、度重なる社会・経済の変化に伴う様々なお客様のニーズにお応えすると同時に、自動車業界の発展や、環境問題の解決にも貢献してきました。

## 環境施策と社会動向



## 当社のあゆみ

★創業(1944年)  
★ブッシュ生産開始

創業当時の社屋

★エンジン用軸受生産開始

- アルミ合金軸受
- 鉛フリー軸受のラインナップ拡大
- マイクログループ
- 樹脂コーティング付き軸受
- パーシャルツイングループ

★アルミダイカスト製品生産開始

- 負圧駆動式EGRバルブ
- 排気ガスのクリーン化
- ターボアクチュエータ
- エンジンの高出力化
- パキュームポンプ
- エンジンの高効率化
- 燃料電池用プレート
- 電子制御式EGRバルブ
- 電動化対応製品

- メタルヘッドガスケット
- 樹脂ギヤ
- 静粛性

## 当社の活動

区分	主な取り組み	SDGsへの対応	
お客様	<b>品質向上の取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>品質向上活動</li> <li>顧客満足度調査</li> </ul>	P13	
	<b>製品安全</b> <b>製品する規制対応状況</b>		
取引先	<b>適正取引の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーンマネジメントの取り組み</li> <li>豊成会への支援</li> </ul>	P14	 
	<b>グリーン調達</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン調達ガイドラインの発刊</li> </ul>		
従業員	<b>人権、雇用、労使に関わる取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークライフバランス</li> <li>ダイバーシティ活動</li> <li>従業員との対話</li> </ul>	P15	 
	<b>人財育成、教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場を支える人財育成 スキルアップ制度</li> </ul>		
	<b>労働安全衛生の取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ安全衛生管理体制</li> <li>リスク軽減活動の推進(3現主義)</li> <li>安全衛生教育</li> <li>従業員の健康</li> </ul>	P17	
社会・地域	<b>地域とのコミュニケーション、社会貢献活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域への貢献活動</li> <li>主な活動紹介</li> </ul>	P18	 
株主・投資家	<b>適切な情報開示</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な考え方</li> <li>情報提供の取り組み</li> <li>IR活動実績(2020年度)</li> </ul>	P19	
コーポレートガバナンス	取締役ほか透明性のある企業運営	P11	
コンプライアンス	コンプライアンス推進、内部通報制度	P12	
リスクマネジメント	<b>リスク管理</b>  <b>情報漏えいの防止</b>		
生産環境	<b>気候変動対応、省資源、生物多様性の保全、環境法令順守</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動問題を解決する取り組み</li> <li>改善事例</li> </ul>	P21	 
製品環境	<b>環境・社会に貢献する製品開発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>製品による環境貢献</li> <li>自然共生活動</li> <li>環境マネジメント</li> </ul>	P24	





当社は、グローバルな企業活動を通じて持続可能な社会とその発展に貢献するため、ステークホルダーと健全な関係を築き、より良い製品を提供します。それこそが自らの役割であることを認識したうえで、企業責任を果たし、社会に信頼される企業であり続けるための経営システムの維持・構築に努めています。

### 取締役会の役割、構成、議長

当社では、代表取締役社長が議長となる取締役会を原則毎月1回開催し法令・定款で定められた事項や経営に関する重要事項の決定並びに業務執行の監督を行っています。取締役会の透明性と健全性を高める活動として、社外取締役および社外監査役に対し、付議案件を事前に説明し案件に対する理解を深めていただくことや、社外取締役および社外監査役と代表取締役の間で定期的に会合を実施し、取締役会の運営などについて意見交換を実施しています。2021年6月には、意思決定・監督と業務執行を明確にわけた体制としました。また、取締役会の下部機関として、代表取締役社長が議長となる常勤役員会を原則毎月2回開催し、業務執行に関する決定や報告を行っています。

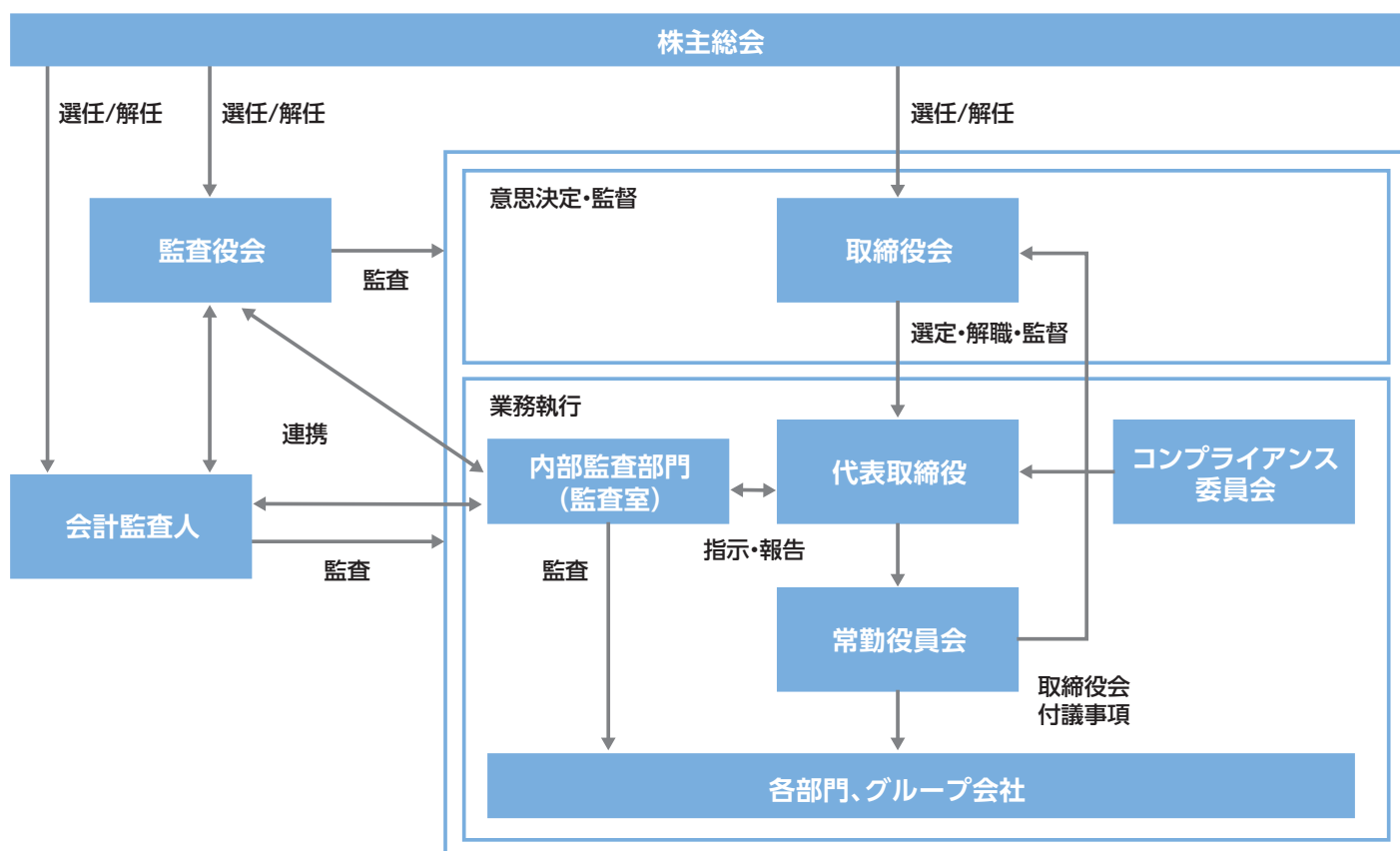
### 取締役会への選出プロセス

株主総会にて決議される、取締役候補者の選任にあたっては経験・性別・年齢等の観点から多様性を重視しています。また、個々の候補者に対し取締役会が期待する役割を明示しています。現在の体制は取締役総数が5名、そのうち社外取締役数は2名で社外取締役数の比率は40%です。社外取締役は独立取締役であり業務執行役員を兼ねていません。

### 監査役会の役割、構成

当社では、監査役制度を採用しており、監査役5名(社外監査役3名含む)は、監査役会が定めた監査の方針および実施計画に従って監査活動を実施し、コーポレートガバナンスの一翼を担っています。監査役選任については、専門分野を中心とした幅広い経験・見識があり、業務執行上の監査に加え、公正・中立的な立場で経営に対しての意見・助言を頂ける人財を選任しております。また、監査役会と内部監査機能が、それぞれの監査結果を共有化する機会を増やすなど、監査の実効性を上げるため連携を強化しております。

## コーポレートガバナンス体制





## コンプライアンス



当社は法令等順守体制に係る規程を定め、体制を構築し、維持することで企業の不祥事を未然に防止し、コンプライアンス(法令、契約、企業倫理、社内規程等の順守)を浸透させる活動を展開しております。

### 法規制順守状況

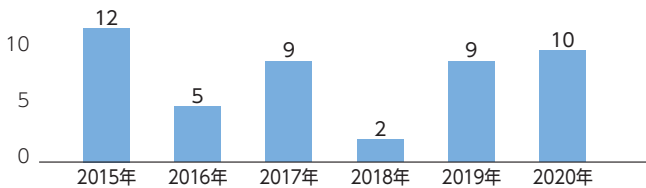
2020年度は、法規制の違反はありませんでした。

### 内部通報制度

社内外6か所に「なんでも相談・連絡窓口」を設置し、最も相談しやすい窓口に連絡できるよう工夫しています。また、公益通報者保護法に則り、通報者・相談者の身分やプライバシーの保護が十分に配慮されていることをコンプライアンス教育で周知しています。毎年一定数の相談があり、問題の早期解決に結び付けています。

#### 内部通報件数

単位:件



## リスクマネジメント



当社は、企業の社会的責任を認識し、経営の安定化を図りつつ、企業価値を高める上で障壁となるリスクを正確に把握し、法律に則しながら合理的な対策を講じることで、リスクの現実化を回避するとともに、現実化した場合には、被害を最小化することを目的とするリスク管理を行っております。

### リスク管理体制

毎年、各部署へリスク調査を実施し、各部署の顕在リスクの分析・評価・対策のPDCAを通じて、重大なリスクの未然防止に取り組んでおります。

また、各機能会議体等においてリスクの把握及び対応の方針と体制について審議・決定をし、緊急にリスクが現実化した場合、執行役員以上の最上位者に報告するとともに、その指示に従い、事後処理対策等を効果的・効率的に実施しております。

#### ■ BCM(感染症予防対応)

社内の感染拡大を予防し、従業員の安全対策に取り組んでいます。

### コンプライアンス推進体制

最高責任者を代表取締役社長とし、監査室が事務局となり、法令等順守体制のレベルアップを図るため、コンプライアンス委員会を設置しております。また、社内のコンプライアンス周知徹底を図るため、各部のコンプライアンス推進委員と執行役員が出席する下部推進会議体としてコンプライアンス推進会議を設置しております。

#### ■コンプライアンス浸透度調査

職場で働く全ての者を対象とし、毎年1回、全10項目について実態調査を匿名方式で回答を得ております。ここで得た回答を参考に当社のリスクを導き出し、ヒアリング結果と対応方法についてコンプライアンス委員会で報告を行っております。

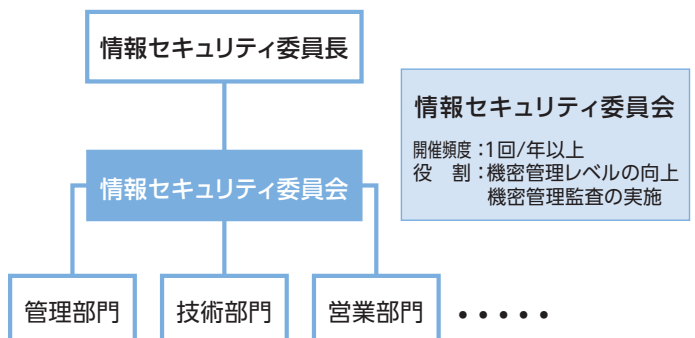
#### ■コンプライアンス教育

事務局が当社特色に合わせたテーマを選定、教育動画を制作し、年4回、職場単位で伝達教育を実施しています。また、社内の注意喚起を目的に他社の不正・コンプライアンス事例を「他山の石」として各部長及び国内外グループ会社へ月1回、配信しています。

### 情報セキュリティ

年々巧妙化するサイバー攻撃やウイルス感染を非常に重要なリスクとして考えております。顧客情報流出リスク等に対応するため、情報セキュリティ体制を構築するとともに、機密情報管理の徹底のための情報セキュリティガイドブックの作成と教育、機密管理監査、情報標準型メール訓練の実施等を行い、情報セキュリティの強化に取り組んでいます。

#### 情報セキュリティ体制図





顧客満足 (CS)

2020年度の品質管理に関する表彰

- <大豊工業>
  - トヨタ自動車 品質管理優良賞
  - トヨタ自動車 三好工場・明知工場 品質優秀賞
  - 日産自動車 優良品質感謝状
  - エクセディ 品質優良賞
- <ティーイーティー>
  - コマツNT 業務改善賞
- <タイハウコーポレーションオブアメリカ>
  - スバルインディアナオートモーティブ
  - Excellent Performance Award in 2020
  - アイシンワールドコーポレーションオブアメリカ
  - Excellent Performance in Contribution of Quality and Delivery
  - ゼネラルモーターズ
  - Supplier Quality Excellence Award 2020
- <タイハウコーポレーションオブタイランド>
  - 日野モータースマニファクチャリング タイランド
  - Part Business Silver Award



トヨタ自動車 三好工場・明知工場 品質優秀賞

品質向上活動

当社の経営方針である「VISION2025」達成を目指し、グローバルな展開を推進していくために「顧客第一」や「法令順守」を織り込んだ方針のもと、開発・生技・製造が一体となって品質向上に取り組んでいます。

品質月間活動について

全社一丸となった品質向上を目指し、『全員参加』をキーワードとして活動に取り組みました。従業員全員が自分と仕事について考え、上司と部下が『相互啓発』によって品質を向上させる期間としました。

- 1 社長メッセージを動画放送  
⇒トップの品質に対する思いを共有
- 2 全従業員対象に「私の品質宣言」作成  
⇒全員で『お客様第一』の意志表示
- 3 品質に対するヒヤリ・ハット提案  
⇒『全員参加』で品質感性の向上
- 4 従業員インタビュー  
⇒品質月間の『周知徹底』品質意識の向上



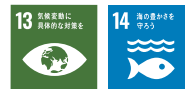
製品安全

(製品に対する規制対応状況)

当社の製品に対する規制について、法令を随時監視し、適合させています。

対象となる規制	取り組み状況
欧州REACH規則	POPs条約に基づくPFOA規制へ対応しています
ELV指令	法令随時監視中、法令への違反はありません
その他の規制	化審法に基づくPFOA規制へ対応しています、中国VOC国家標準への違反はありません





## 適正取引

当社は、「調達基本方針」に基づき、適正取引の推進を図っています。調達活動に当たり、取引先の皆様とサプライチェーン全体で活動し、相互の持続的成長につなげていくために、お互いの信頼に基づいたパートナーシップ体制を構築していきます。

### サプライチェーンマネジメント(全てのサプライヤー)

#### BCM

東日本大震災の経験を踏まえ、サプライチェーンの把握、調達先の複数化など大規模災害を想定した「生産の構え」の検討開始。大規模災害が発生した際に円滑に行動できるよう取引先と本番を想定した情報収集訓練を実施しました。

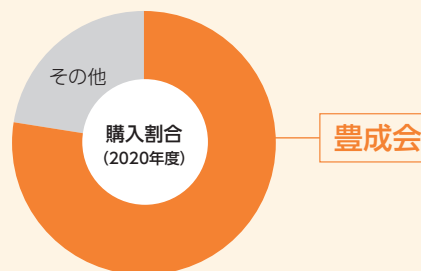
#### 紛争鉱物

紛争鉱物に関して、直接および間接的な使用も一切認めないという方針のもと、取引先の皆様のご協力をいただきながら不使用を確認、新規品や取引開始時にも調査を行い、継続して紛争鉱物の不使用を担保する体制を維持しています。

<http://www.taihonet.co.jp/company/conflict.html>

#### 豊成会

豊成会は、当社の協力会社(全18社)で構成される組織として、1989年に結成され、大豊グループ協力会として相互研鑽を通じ、企業の発展を図っています。



#### 技術開発支援

グループ力の最大化(開発力、収益向上)とパートナーシップ強化を目的に2012年から毎年「技術開発・改善事例展示会」を開催しています。2020年度は14件の事例が展示されました。



#### 社会的リスクの支援

安定供給に対する社会的リスク管理の強化も支援しています。一例として、従業員の安全確保を目的に各社の安全衛生委員会へ参加し、改善支援や意見交換を実施し災害の未然防止を図っています。



## グリーン調達

当社は地球環境保全に積極的な取り組みを行っている取引先から優先的に部品や原材料の調達を行っています。また、環境支援活動の一環として、各社を訪問し、現地・現物確認会を継続しております。

### グリーン調達ガイドライン

第6次大豊環境取り組みプランの策定に合わせ、ガイドラインの改訂を2017年1月に行いました。

PDF版は当社ウェブサイトからダウンロードできます。<http://www.taihonet.co.jp/company/green.html>

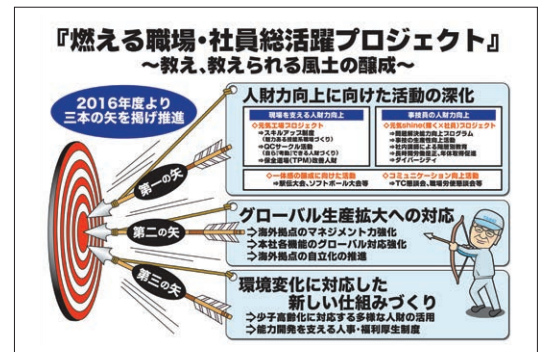




## ワークライフバランス

従業員一人ひとりが「仕事と家庭の両立」、「夢や目標を持って仕事に取り組む」等自分らしく輝き、仕事で成果を出せる働きやすい環境づくりに努めています。

- ・年間総労働時間の削減及び年次有給休暇の取得日数向上を目標として、生産部門では「元気工場プロジェクト」による生産性向上活動の推進、事務・技術部門では「元気shineプロジェクト」として業務の標準化を推進させ、好事例を部署間で共有することにより、働く環境を整備
- ・「事業所内託児所の設置による早期復職への支援」、「育児休業後の時短勤務制度の拡大」、「育児休業者へのキャリア面談」等 働き方の多様化に対応



### ■育児のために使える制度

<p><b>①育児休業</b> 子が生まれてから2歳の誕生日前日まで可能</p> <p><b>②育児短時間勤務</b> 復帰から小学校3年生まで可能</p> <p><b>③時間外労働の制限</b> 3歳に達するまで可能</p>	<p><b>④深夜勤務の制限</b> 小学校就学前の子を持つ社員は時間外労働の制限を請求できます。</p> <p><b>⑤子の看護休暇</b> 年次有給休暇とは別に、1年につき小学校就学前の子ども1人当たり5日間の看護休暇を取得できます。</p> <p><b>⑥妻出産時の特別休暇</b> 3日取得可能</p>
---	---

### ■介護のために使える制度

<p><b>①介護休業制度</b> 介護のために一定期間休業できる制度 【期間】対象家族1人につき通算して93日を上限に3回まで分散取得可能</p> <p><b>②勤務時間に関する制度</b> ●短時間勤務制度 ●時間外労働の制限 ●深夜勤務の制限</p> <p><b>③介護休暇制度</b> 介護が必要な家族の通院の付き添いや、手続き代行などの必要な世話をする場合に休暇を取得することができる制度 【期間】1人につき5日/年度 【取得単位】1日または半日、または時間単位</p>
--

## ダイバーシティ活動

「個性を尊重し、その特徴を活かしながら一人ひとりがいきいきと働くことが生産性向上、企業の成長へと繋がる原動力である」という考えのもと、現在社内では女性、外国人、中途採用者に限らず多様な個性、特徴、経験を持つ人材が中核人材として活躍しており、会社の成長に繋がっています。

### ■目標設定

下記(1)～(3)のいずれにおいても、その多様な個性、特徴、経験を活かせるようにさらなる取り組み、支援を行い、管理職数の拡大を行っていきます。

(1) 女性管理職	2021年	3名
(2) 外国籍または外国出身者管理職	2021年	2名
(3) 中途採用者の管理職	2021年	35名

### ■多様性確保に向けた「社内環境整備」について

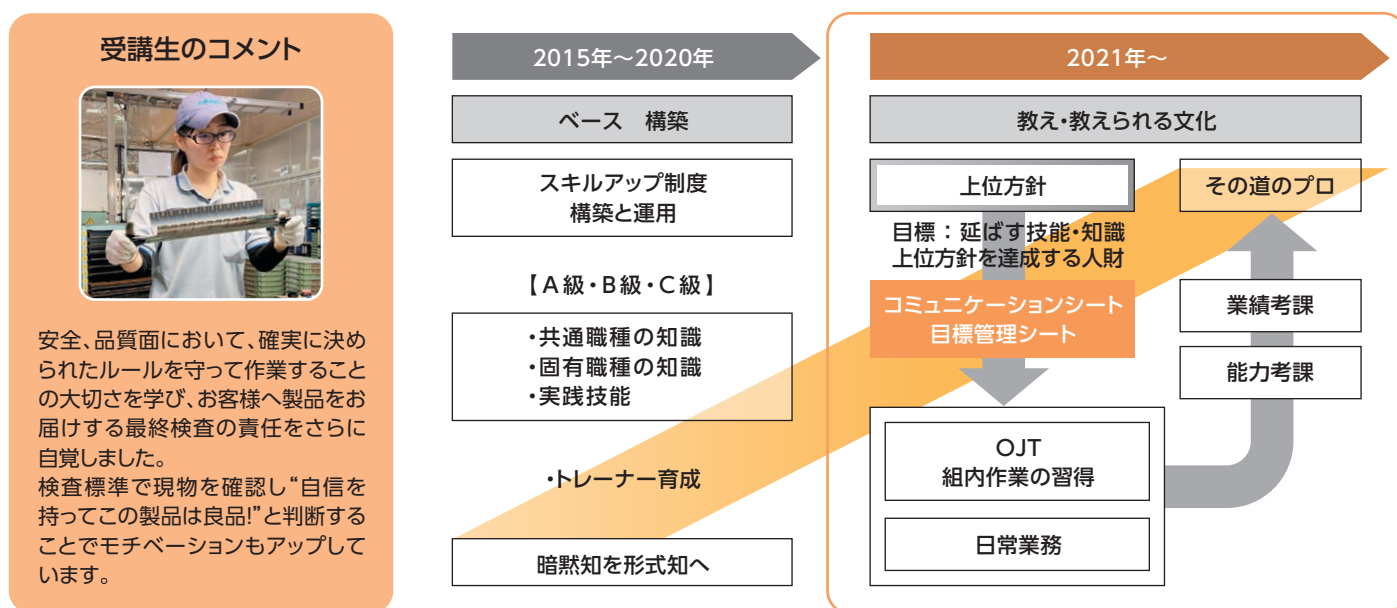
#### 社内環境整備

- ・一般職から総合職への職種転換及び新卒女性総合職の積極採用によるダイバーシティの推進
- ・「事業所内託児所の設置による早期復職への支援」、「育児休業後の時短勤務制度の拡大(小学校3年生まで)」「育児休業者へのキャリア面談」等、働き方の多様化に対応する施策の実施
- ・育児、介護、配偶者の転勤による退職者のカムバック制度の運用
- ・管理職への「ダイバーシティ教育」による意識改革

## 人財育成

### ■現場を支える人財力育成 スキルアップ制度

スキルアップ制度は、製造現場での経験による暗黙知(カン・コツ)の継承に頼るのではなく、具体的な技術・技能・原理原則を形式知化し正確に伝承するための制度です。先輩がトレーナーとなり、まさに「教え・教えられる風土」を醸成し、先輩が後輩に、後輩がまた次の世代へと、永遠に引き継がれていく「人づくり」の大きな役割を担っています。社員一人ひとりが主役となり、「より楽しく快適な職場」をつくり出す風土を根付かせていきます。



## 従業員データ

	2017	2018	2019	2020
従業員数 (単体)	1,677	2,067	2,003	1,991
女性従業員割合 (%,単体)	10.8	11.5	12.4	12.1
管理職に占める女性比率 (%,単体)	0.9	1.4	1.4	1.3
育児休業取得人数(男性)	10(1)	15(0)	10(2)	15(0)
年休取得日数	12.2	12.5	14.7	12.3
平均年齢	37.3	36.8	37.2	37.9
平均勤続年数	14.3	13.1	13.9	13.7
障がい者雇用率 (%単体)	2.1	2.4	2.7	2.6

## 従業員との対話

当社は、大豊工業労働組合と安定した労使関係にあり、お互いに力を合わせて諸課題の解決に取り組んでいます。労使協議会や職場労使懇談会など、全社、および職場単位で、労使が直接対話する機会を数多く設け、従業員の労働条件や職場環境等について定期的に協議・意見交換をおこなっています。





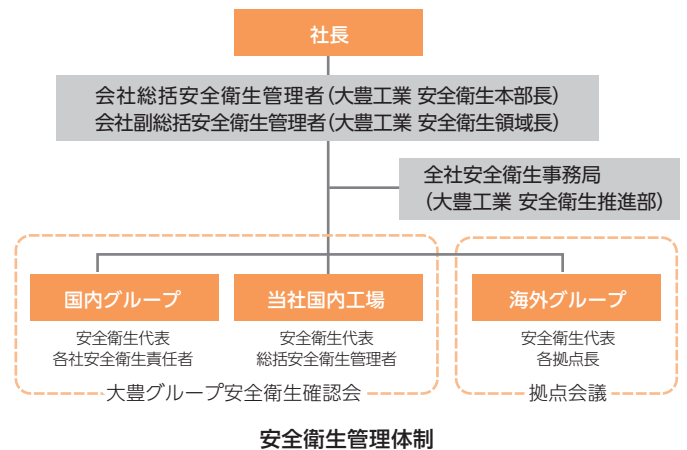


### グループ安全衛生管理体制

大豊グループとして、安全衛生の管理体制を編成し、安全衛生委員会(1回/月)、衛生管理者・安全管理者巡視(1回/週)、産業医巡視(1回以上/2ヶ月)を行い、安全、健康の観点で情報発信し全社活動を推進しています。また、各工場、グループの全体の活動をより深化させるべく、

- ・大豊グループ安全衛生確認会(1回/月)  
安全活動の事例共有、活性化
- ・グローバル拠点会議(2回/年)  
拠点間の安全活動のレベルアップ化

などの当社独自の活動も実施しています。



### リスク低減活動の推進(3現主義)

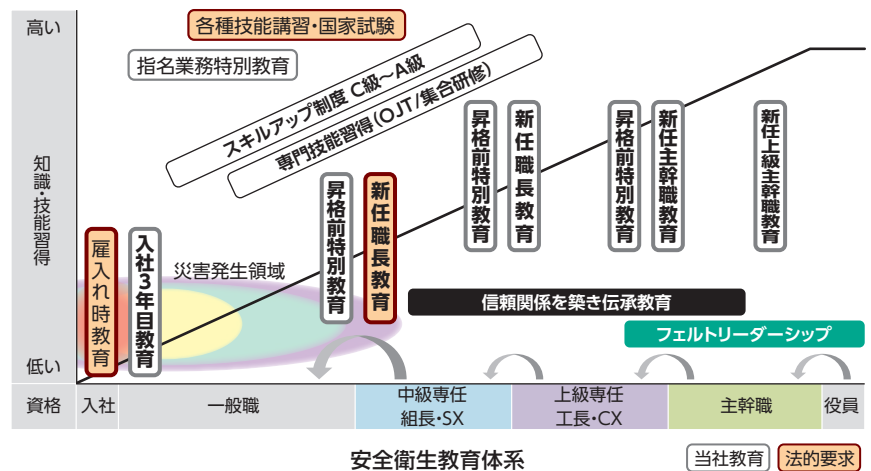
2006年より『作業のリスクアセスメント』を全社一斉に実施し、ハイリスク作業を重点に低減してきましたが、まだ不安全な作業、やり難い作業が残っています。そのため、更なるリスク低減に向けて、職制パトロールや公開段替など工場長自らが前後工程を含めた一連の作業を点検しています。工事、設備、化学物質などにおいても事前にリスクアセスメントを実施し、安全な人づくりに取り組んでいます。

活動	職制/パトロール	公開段替
出席職制	部長以下	工場長以下
開催頻度	1回/日	1回/週
観察作業	高頻度作業	段替え作業 低頻度作業

主な現場点検活動

### 安全衛生教育

“安全、安心、健康”の維持増進を図るため、法的要求に掲げられた安全衛生教育に加え、“フェルトリーダーシップ(感じて貰える指導力)”の考えのもと、階層別教育においても安全、衛生(健康)のカテゴリーを織り込み人財育成を図っています。また、メンタルヘルスについては『早期発見、早期回復、早期復職の支援体制』を強化中です。



- 1)ラインケア：主に中間管理職を対象に小集団で“聴く力”の養成
- 2)セルフケア：若手、昇格前後の方を対象にストレスとの向き合い方を習得
- 3)仕組みづくり：体調不良から休業退職までの職場対応のマニュアル化
- 4)カウンセリング：公認心理師による相談と職場へのフィードバック

### 従業員の健康

#### 健康経営優良法人2021(ホワイト500)認定

当社の健康意識向上活動と、健康増進の積極的な取り組みが評価され、2020年に続き、健康経営優良法人2021(大規模法人部門ホワイト500)に認定されました。認定は今回で2回目となります。





## 地域への貢献活動

新型コロナウイルスの影響により、大豊祭、夏まつりなど多くの地域イベントを中止せざるをえませんでした。「一人でも多くの方に地域貢献活動の理解と関心を」と推進し、執行役員や従業員が積極的にボランティア活動に参加。従業員の社会貢献活動を支援し、地域とのコミュニケーションの場を提供します。

### 主な社会貢献活動

1～3月	・ 障がい者交流グッズ大会 ・ 矢並湿地保全活動	・ 社内献血活動
4～6月	・ ひかりの丘活動 ・ 農業ボランティア	・ 桜の植樹 ・ 地域を花で飾ろう
7～9月	・ 農業ボランティア	・ 矢並湿地保全活動
10～12月	・ 地域を花で飾ろう ・ ひかりの丘活動	・ むもんまつり ・ 松竹梅寄せ植え鉢製作

### 農業ボランティア活動

当社は2021年度から無門福祉会が推進している“農福連携自然栽培パーティ”に参加しています。休耕地を田や畑に戻し、無農薬、無肥料の作物をつくるお手伝いをしています。



### ひかりの丘活動

障がい者支援センター“ひかりの丘”で施設内の清掃支援を行っています。窓ガラス、エアコンフィルターなど手が届きにくい高所の掃除、エントランスの花壇の植え替えを行っています。



### 社内献血活動

当社は毎年、豊田市内の各工場で献血活動を行っています。50年以上にわたり献血に協力してきたことが評価され、2020年に赤十字社から表彰をいただきました。



### 地域とのコミュニケーション

新型コロナウイルスの影響により活動を控えていますが、地域自治区との懇談会、工場見学会を定期的開催し、意見交換を行い「良き企業市民」として役割が果たせるよう努めています。







## 基本的な考え方

当社は適時・適切かつ公平な企業情報の発信に努め、さまざまなIR活動を通じて、株式市場における適切な企業評価を得られるよう努めています。

開示に関する法令ならびに東京証券取引所の定める規則に従った情報開示だけではなく、経営方針や事業活動の情報も、当社への理解を深めていただけるよう積極的に開示していきます。

## 情報提供の取り組み

2020年度は新型コロナウイルスの影響により、東京で年2回実施していました決算説明会を中止しました。

株主総会、株主懇談会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため短時間化、座席間隔の確保、マスク着用、消毒液の設置など対策を行い開催しました。

## IR活動実績(2020年度)

- ・とよたビジネスフェア (3月)
- ・株主向け報告書 (6月、11月)
- ・株主懇談会 (6月9日)
- ・機関投資家、証券アナリストとの個別面談



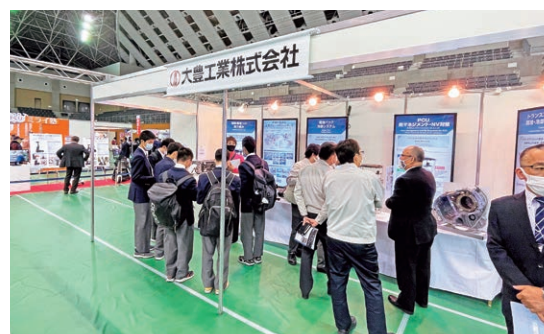
株主総会



株主懇談会(社長プレゼン)



株主懇談会(技術展示)



とよたビジネスフェア(2021年3月)

## Pick Up

### 「大豊工業バーチャル展示場」を開設

コロナ禍により様々な展示会が中止となる中、当社は2021年12月よりオンライン展示場「大豊工業バーチャル展示場」を開設しました。電動製品の取り組みなど最新のコンテンツがご覧になれますので是非お越しください。

#### 主な展示内容

- ・軸受製品
- ・エンジン用機能製品
- ・FCEV
- ・EV、HEV、PHEV
- ・モデルベース開発
- ・「人とくるまのテクノロジー展2021 ONLINE」

URL <http://www.taihonet.co.jp>







深刻化する気候変動リスクを中心とした環境問題に対し、大豊グループとしてできることに取り組み、サステナブルな企業となるべく推進強化を図っています。

### 環境方針の改訂

2021年1月、昨今の環境・社会情勢を鑑み、10年ぶりに環境方針を全面改訂しました。

自動車部品製造業として、より一層モビリティ社会を通じた社会課題の解決を目指すべく、環境技術の追究を最優先事項としています。

また、モノづくりとしてCO<sub>2</sub>排出のゼロを目指す方針も新たに設け、活動の具体性を明確にしました。

### 環境保全組織

環境方針の改訂に伴う組織やマネジメント体制の変更はありません。

## 大豊 環境方針書

### <環境基本理念>

製品と生産で 社会と環境に貢献

### <環境方針>

#### 1. 持続可能な社会に貢献する環境技術の追究

環境・経済の両立を実現する新技術を通じて、地球環境課題の解決とモビリティ社会への貢献

#### 2. 環境と調和を図るモノづくり

各国・各地域における環境を保護するため、合理的なモノづくりと自主的な計画に基づく継続的な改善

- ①CO<sub>2</sub>排出量ゼロに向けた取り組み
- ②金属・水資源、環境負荷物質の使用量および排出物を抑制する取り組み

#### 3. 社会との連携・協力

環境保全に関わるステークホルダーとの信頼関係の構築

- ①法規制の順守と環境異常・苦情の未然防止
- ②お客様・仕入先様との連携と協力
- ③地域社会、地域環境への貢献
- ④積極的な情報開示

2021年1月1日  
大豊工業株式会社  
代表取締役社長

杉原功一

## ■大豊工業 2021-2025年環境取り組みプラン

2020年に策定した5か年計画についての進捗は下記の通りです。

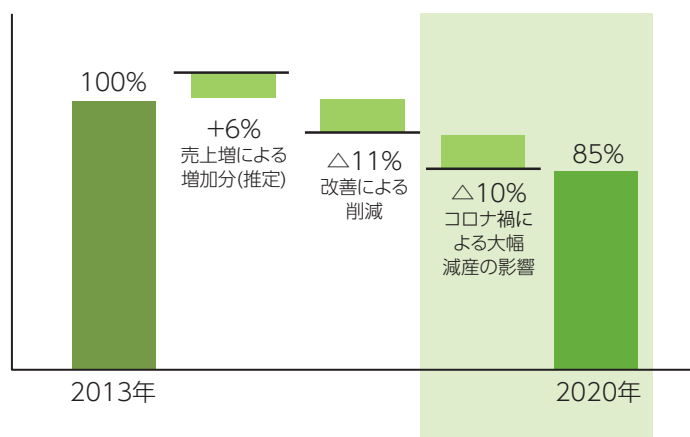
取り組み項目	内容	進捗状況		
1 CO <sub>2</sub> ゼロチャレンジ	製品環境	自動車の燃費貢献や電動化対応製品開発	社内開発案件の正式受注に向け、テーマ推進中	
	2 資源有効利用	生産環境	2030CO <sub>2</sub> 削減シナリオの推進	原単位改善を継続中
3 社会との信頼を築く		共通	水リスクへの取り組み	グローバルでのリスク評価を完了
		共通	排出物の抑制、削減	原単位目標に対し達成を継続中
3 社会との信頼を築く	共通	環境異常・苦情の未然防止	環境異常、苦情ゼロ件を継続中	
	共通	化学物質規制への対応	PFOAに関する規制について対応中 (⇒P15参照)	
	共通	仕入先への支援	省エネ支援活動を継続中	
	共通	地域住民との交流	自治区懇談会、ボランティア活動等を実施	
	共通	自然共生活動	「矢並湿地」保全、森林ボランティア等を実施	
		環境に関する情報開示	GRIスタンダードを参考に開示	



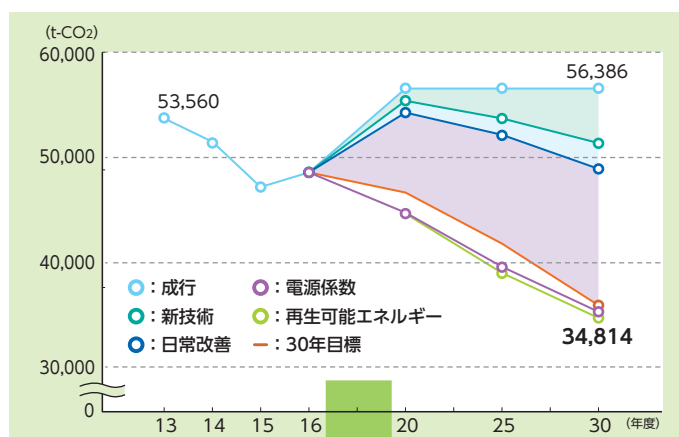
## 気候変動問題を解決する取り組み

昨今の気候変動問題に対し、当社は省エネ活動を継続してきました。しかし、加速する地球環境の悪化を抑制するべく、2018年に「2030 CO<sub>2</sub>削減シナリオ」を公表し取り組んできました。  
更なる取り組みとして、「カーボンニュートラル」を実現するためシナリオのアップデートを検討しています。

### 大豊工業(単体)のCO<sub>2</sub>総排出量推移



### 2030 CO<sub>2</sub>削減シナリオ (大豊工業単体)



### CDPスコア

2020年スコア 『C-』

トヨタ自動車が主導するサプライチェーンプログラムに加盟して対応しています

今後、更なる長期目標を設定し、再エネ導入も検討します。

## 改善事例

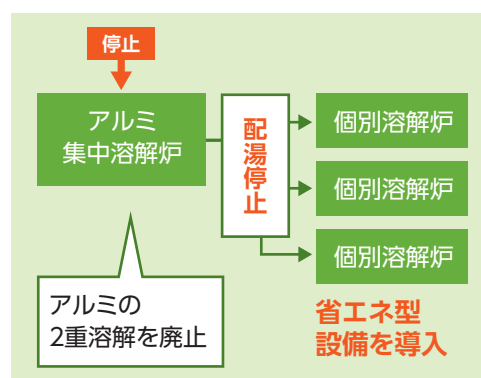
### アルミ鑄造用溶解炉の個別溶解化 ..... 本社工場



太田 一秀

製品の変化、作り方の変化に対応させるために22年間稼働した集中溶解炉を停止させ、同時に手許溶解炉のコンパクト化など溶解効率を上げた設備導入を実施。  
溶解時に使用する都市ガスを大幅に削減しました。

削減効果 **970t - CO<sub>2</sub>/年**



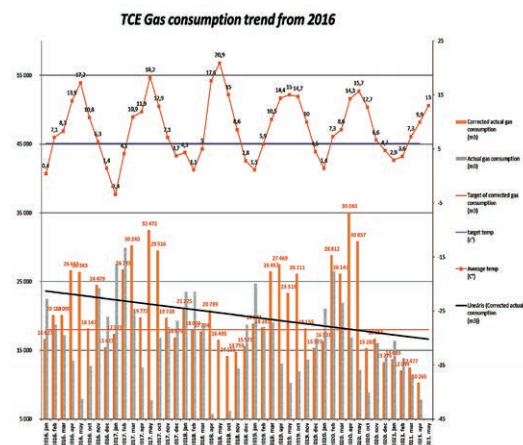
### 暖房用の天然ガス使用量削減 ..... TCE(ハンガリー)



Tamás Gecser

主に夏と冬に使用する空調は、室温を一定にするよう運転していた。そこで、外気温と連動した空調制御にすることで暖房用のガスを削減することができました。

削減効果 **約97t - CO<sub>2</sub>/年**



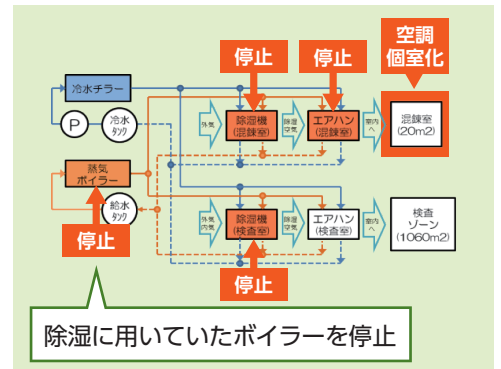
## ■ 温湿度管理の見直しによる空調の最小化 …………… 岐阜工場



岡野 健次郎

品質上の温湿度管理が必要なのは混練室だけでしたが、他のゾーンにも適用していました。エネルギーの見える化を進め、日締めデータから稼働の目的を「なぜ?なぜ?」と考えることで今回のテーマに気づけました。失敗もありましたが、改善をやり切ることができました。

削減効果 約**280t** - CO<sub>2</sub>/年



## ■ 冷却水ポンプの統廃合による省エネ …………… 幸海工場

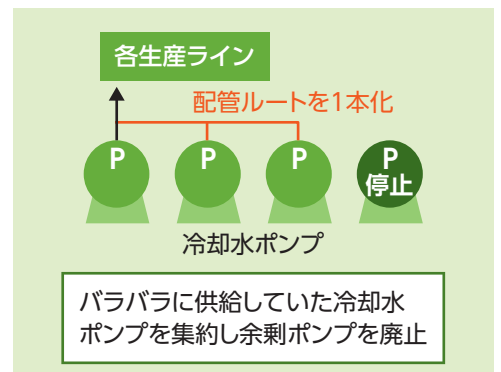


山下 真也

今までは費用がかかる・リスクがあるなどの理由から見送られていましたが、エネルギー削減の必要性を理解していただき、寄せ止めできるようになりました。

今後も現状に捉われずに改善を行います。

削減効果 **52t** - CO<sub>2</sub>/年



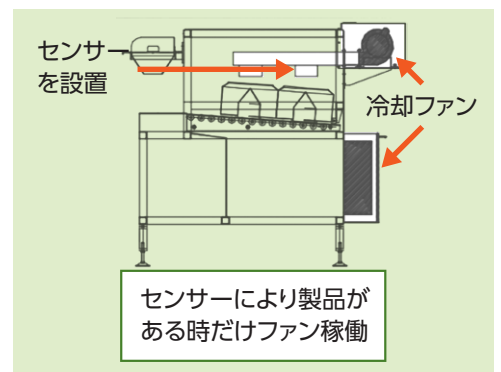
## ■ 製品冷却用ファンの間欠運転化 …………… TCK(韓国)



孫 敏鎬

製品の冷却機ファンの動作条件は物が無い時にも24時間ONの状態でした。そこで検出用センサを取付けて、冷却ファンのアイドルをなくして電力量を大幅に低減することができました。

削減効果 約**6t** - CO<sub>2</sub>/年



## ■ 再生可能エネルギーの使用拡大 …………… WBM(中国)



于 华兴

工場の敷地内にある街灯を、太陽光発電タイプのものに交換しました。LEDを採用することで電力消費量も低減しており、金額効果もあります。雨天の場合には多少影響がありますが、問題なく使用しています。

削減効果 約**6t** - CO<sub>2</sub>/年







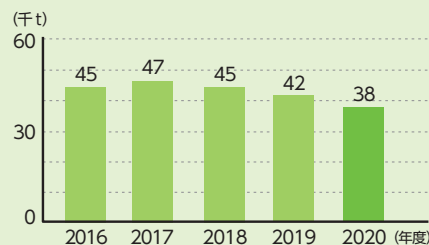
環境パフォーマンス

大気への排出

■ 電気使用量



■ 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)総排出量



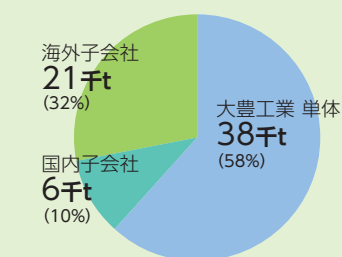
■ フロンガス回収量

2020年度	
対象設備	回収実績
全社	50.3t-CO <sub>2</sub>

■ 都市ガス使用量



■ CO<sub>2</sub>総排出量比率



算出に用いた係数

電力：0.39972 (GHGプロトコル係数)  
 ガス：2.07966 (を参照しています)

■ ばいじん、NOx

2020年度		
対象事業所	ばいじん (規制値:0.2g/m³N)	NOx (規制値:70~200ppm)
本社工場	< 0.0002~0.0087g/m³N	< 1~43ppm
細谷工場	< 0.0002~0.0043g/m³N	19~41ppm
幸海工場	< 0.0002~0.0004g/m³N	< 1~28ppm

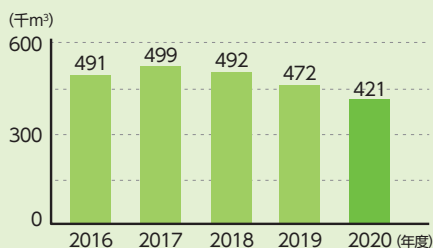
各種装置ごとに測定した結果をまとめて表示しています。  
 <は定量下限値未満を示しています。

■ ダイオキシン類

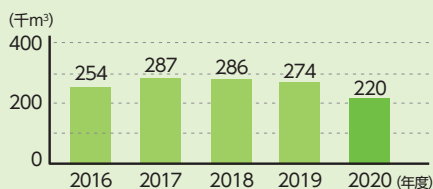
2020年度		
対象事業所	対象設備	測定結果 (規制値:5ng-TEQ/m³N)
本社工場	アルミ集中溶解炉	0.00000063ng-TEQ/m³N

水と排水

■ 水使用量



■ 放流量



■ 放流水質(有害物質項目)

主な取水源：愛知県西三河用水  
 主な放流先：愛知県三河湾海域

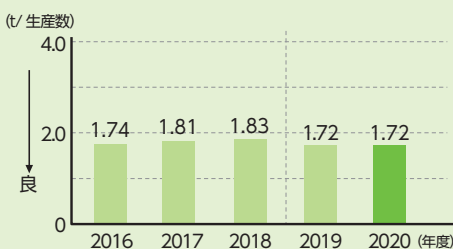
有害物質項目	工場	濃度
鉛およびその化合物 (規制値0.08)	本社工場	0.02mg/ℓ
	細谷工場	0.01~0.03mg/ℓ
ホウ素およびその化合物 (規制値4)	細谷工場	1~2mg/ℓ
	幸海工場	< 1mg/ℓ
フッ素およびその化合物 (規制値8)	本社工場	0.2~2.4mg/ℓ
	細谷工場	< 0.1mg/ℓ
アンモニウム化合物、硝酸、硝酸化合物 (規制値 本社、細谷30 幸海15)	本社工場	0.9~8.4mg/ℓ
	細谷工場	1~4mg/ℓ
	幸海工場	< 1~6mg/ℓ

廃棄物

■ 産業廃棄物総排出量

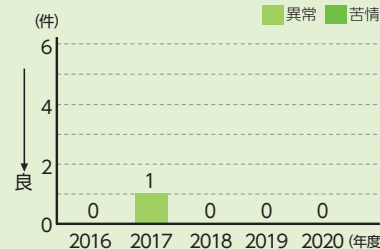


■ 廃棄物原単位(国内連結)



環境異常・苦情

■ 発生件数



## 自然共生活動

2017年より、愛知県豊田市にある「東海丘陵湧水湿地群」(ラムサール条約湿地)の一つである「矢並湿地」の保全活動に参加しています。

1999年から活動をされていた「矢並湿地保存会」の指導の下、希少な湿地の保存を支援しており、現在もその希少性が維持されています。



## 製品による環境貢献

当社製品の搭載された自動車一般社会に普及することで環境保全に貢献することを、当社では「製品による環境貢献」と定義しています。

自動車の燃費向上効果をCO<sub>2</sub>に換算し、下記算出式に沿って算出しています。

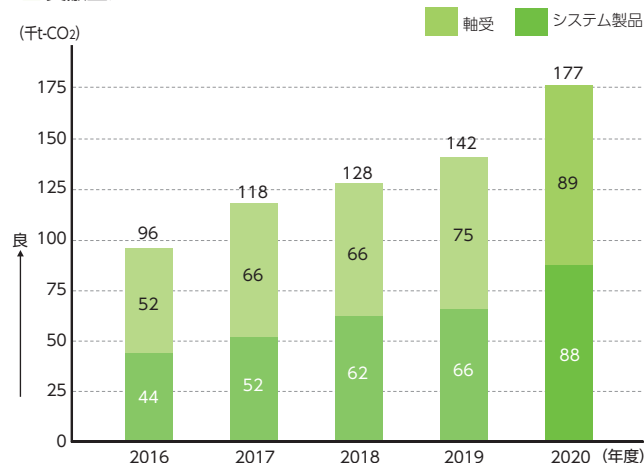
算出式

$$\text{貢献量} = \frac{\text{燃費向上率 (理論値)}}{\text{当社製品の搭載車CO}_2\text{排出量 (自動車メーカー公表値)}} \times \text{年間走行距離 (当社推計値)} \times \text{年間生産台数 (製品販売数からの算出値)}$$

算出式の解説

当社の従来製品と摩擦性能を比較して算出した燃費向上率と、その製品が搭載された自動車のCO<sub>2</sub>排出量、年間走行距離、年間生産台数から貢献量を算出しています。

■ 貢献量グラフ



## 環境マネジメント

環境問題の解決、特に気候変動問題への対応が迫られる中、環境パフォーマンスの向上は欠かせません。当社では1999年の細谷工場にてISO14001を取得し、以降大豊工業の全工場に認証範囲を拡大し管理を継続しています。環境分野におけるリスクとして、気候変動問題、水を含む資源枯渇問題、法規制順守と環境異常の発生を重点としています。また、それら環境問題を解決する製品・エンジニアリングをテーマとし、製品環境分野と生産環境分野の両面で取り組んでいます。

### その他環境データ

#### ■ トリクロロエチレン

2020年度

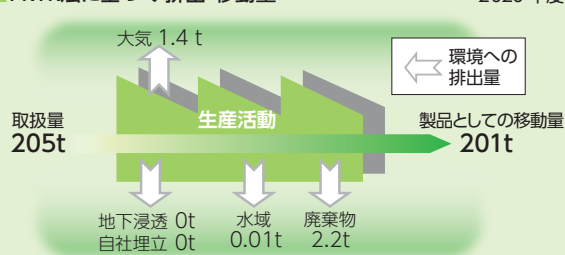
対象事業所 ※	地下水測定データ
本社工場	0.000~0.540ppm
細谷工場	0.000~0.073ppm

計画的な測定、対策と定期的な行政への報告を継続しています。

※ 上記以外の事業所では検出されていません。

#### ■ PRTR法に基づく 排出・移動量

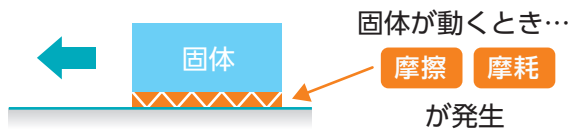
2020年度





## 当社のコア技術「トライボロジー」とは

「トライボロジー」とは、摩擦・潤滑・摩耗などの表面損傷、およびそれらに関連する現象を取り扱う工学の分野です。



自動車部品を作る当社では、材料、設計、潤滑技術により、低摩擦な製品を開発しています。

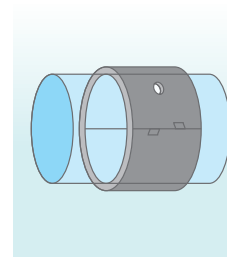


## 軸受とは

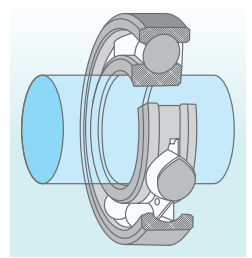
軸受には「すべり軸受」と「ころがり軸受」の2種類があります。

すべり軸受は、軸と軸受との間に油などの潤滑材を使用し、軸の滑らかな回転を支えています。

当社はこの「すべり軸受」を開発・生産しています。潤滑理論により、ころがり軸受では耐えられないエンジンの高負荷に耐えることができ、静粛性・耐振動性・寿命にも優れています。



すべり軸受



ころがり軸受

## 製品紹介

軸受

カーエアコン用コンプレッサ部品

エンジン用すべり軸受

プッシュ

ワッシャ

システム製品

パキュウムポンプ

EGRバルブ

電動化製品

燃料電池用プレート

インバーターケース

その他

バランスウェイト

その他

樹脂ギヤ

その他

ダイカスト製品

ガスケット

ガスケット

カムハウジング

ECU ケース

デフキャリア





# 財務データ

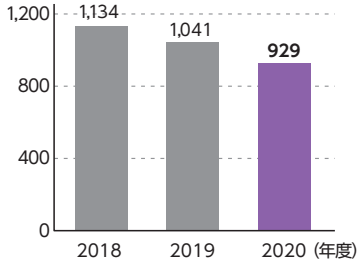
## 業績ハイライト

### 2020年度 連結主要データ

単位:億円

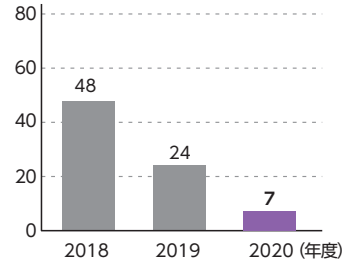
#### 売上高

929億円



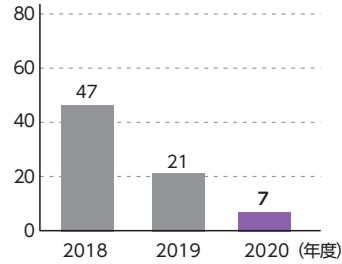
#### 営業利益

7億円



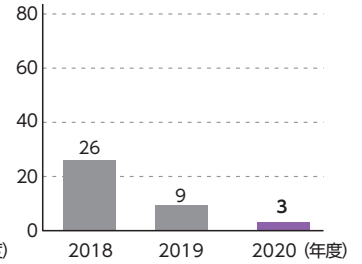
#### 経常利益

7億円

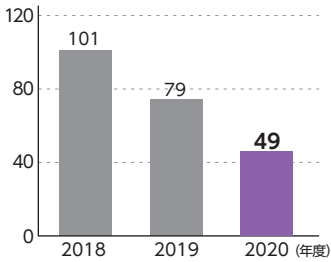


#### 親会社株主に帰属する当期純利益

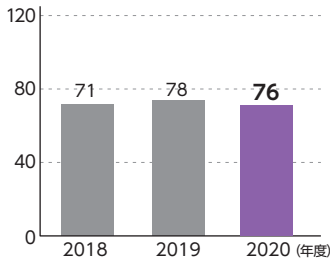
3億円



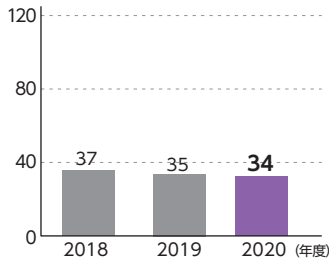
#### 設備投資



#### 減価償却費

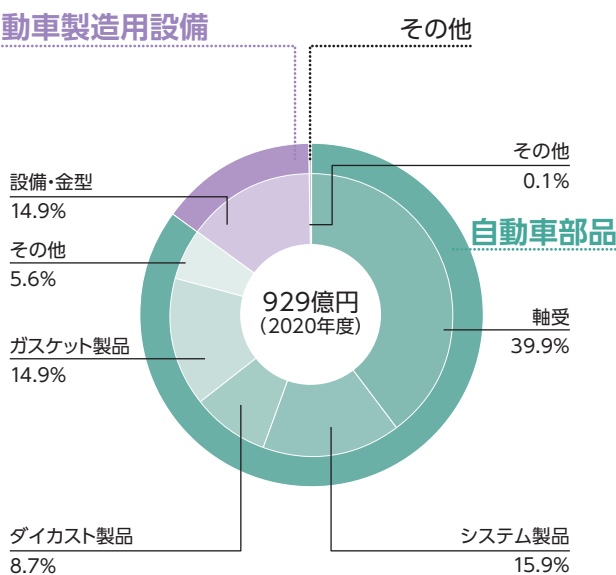


#### 研究開発費



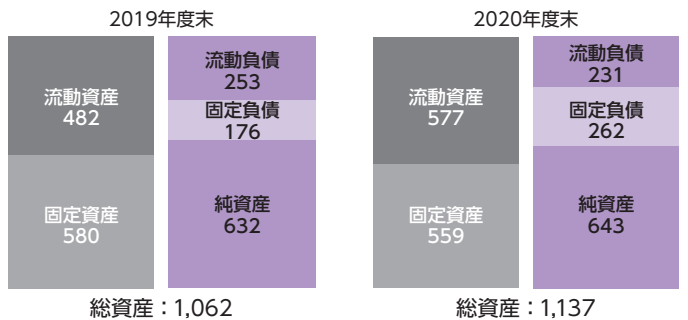
#### 事業別連結売上高

##### 自動車製造用設備



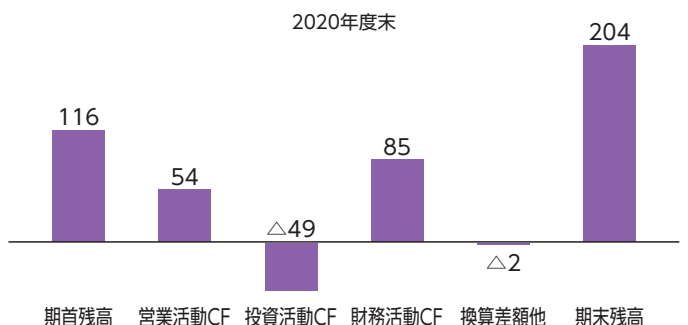
#### 連結貸借対照表(要旨)

単位:億円



#### 連結キャッシュフロー計算書(要旨)

単位:億円



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



大豊工業は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



# 大豊工業レポート2021

2020年4月～2021年3月の取り組み報告

お問い合わせ先

**大豊工業株式会社**

総務人事部 広報・社会貢献室

TEL : 0565-28-2800 FAX : 0565-28-2030

WEB版

本報告書は当社ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.taihonet.co.jp>

